

第55回市民祭岡谷太鼓まつり 世界和太鼓打ち比べコンテスト 本選出場者一覧

一人打ちジュニアの部

申込順	名前	フリガナ	住所	曲名	フリガナ
1	上 漢太	カミ ソウタ	栃木県	探題曲【巻物之門】	トウリュウモン
2	上 教	カミ アラタ	栃木県	探題曲【巻物之門】	トウリュウモン
3	上 大直	カミ タイゾウ	栃木県	探題曲【巻物之門】	トウリュウモン
4	田村 心哉	タムラ イロハ	栃木県	探題曲【巻物之門】	トウリュウモン
5	菅清 史城	ヨシハラ ミツ	神奈川県	探題曲【巻物之門】	トウリュウモン
6	川端 光太郎	カワハタ コウタロウ	石川県	探題曲【巻物之門】	トウリュウモン
7	坂本 晴尚次	サカモト ヒナタ	神奈川県	探題曲【巻物之門】	トウリュウモン
8	青木 南樹	アオキ ナキト	長野県	探題曲【巻物之門】	トウリュウモン

一人打ちマスターズの部

申込順	名前	フリガナ	住所	曲名	フリガナ	曲紹介
1	宮崎 啓也	ミヤザキ セツヤ	三重県	鼓鼓	キセキ	人は皆、独自の軌跡を持っており、和太鼓と出合い経験や成長、自身の学びを経ていく姿を表現しました。
2	上 航	カミ リュウ	栃木県	波瀾	ナミウズ	荒々しい日本海、岩に当たる水しぶきや、海潮によってうねりを出し波瀾を巻き起こす様子を和太鼓で表現します。
3	池内 順平	イケウチ ジュンペイ	東京都	一閃疾風	イチセンシッポウ	昨年に引き続き岡谷太鼓祭の開演頂き有難うございます。 岡谷の和太鼓とまた出逢える喜びを感じつつ、平穏と平和な日々を願い、一打一閃に魂を乗せて打込みます。
4	逢野 穂美子	アサノ コミコ	愛知県	Regin Waves	レージング ウェーブズ	シングルマザーとして育ててきた一人娘もあつという間に大学四年生。経済の波の人生を和太鼓で表現します。
5	上 光	カミ ヒカル	栃木県	疾風迅雷	シツクウジンライ	激しく吹く風や激しく鳴る雷をイメージして、聞いて頂く人に物語が感じられるような曲意を意図しています。

一人打ち男子の部

申込順	名前	フリガナ	住所	曲名	フリガナ	曲紹介
1	今井 轟	イマイ スバル	石川県	狂花火	クライハナビ	この狂花火は自分が会えた人への嬉しさや 感謝をこれから打たせて頂くワクワクが 狂うくらいの気持ちなので太鼓一打一行に込めたいと思います。
2	小池 長大	コイケ コウダイ	東京都	夢ノ花	ナミノハナ	厳しい冬の寒でしか見ることのできない、凍の花。鳥渡にもまれ、風と共に沖へ渡され、荒れ狂う海に花を添えます。苦境を乗り越え、美しく咲き乱れる白鷺の涙の花を全身全霊で表現します。よろしくお願いたします。
3	浦野 元聖	ウラノキ マサトシ	愛知県	鼓	エン	高校生の時から太鼓を始め様々な縁があり今の松平わ太鼓で太鼓をやる事ができていることに感謝して精一杯打込みます。
4	逢野 駿	アサノ シュン	長野県	頂	イタダキ	山頂へ行く長い道のり。 どんな過酷な状況や困難も 一歩ずつ乗り越えていけば 素晴らしい景色に出会えると信じ 突き進む姿を打ち表します。
5	石川 智大	イシカワ チツヒロ	長野県	鬼やらい	オニヤライ	突如現れた世に蔓延る疫病。 これにより社会の縮まりが噂みなくなり、人々の動きが止まってしまった。 人々は恐れ、なす術のない強さな力に頼っている。 それを沈めようとする者達。生か死か、最後生き残るものは…。 本日は「疫病を沈める」「悪魔を追い払う」という意味を持つ「鬼やらい」という曲を全身全霊で表現し、演奏致します。
6	塚本 崇也	ツカモト ジュンヤ	東京都	華	ハヤブサ	鳥の中で最も早く飛び、最も早く飛んだり、ゆっくり飛んだり、たまに羽を休めたり、たまに攻撃的になったり、様々な面を持つ華を表現しました。
7	櫻岡 若輝	ハラオカ ヨシキ	愛知県	鼓	コク	私の心に刻まれた経験、感情を表現、私の命の刻みを感じ、皆さんの心に伝える演奏をします。
8	我 宇	サカイ マナブ	神奈川県	海の向こうへ	ウミノムコウヘ	坂本龍馬の生き様を表現した作品。 変化し続けるこの現代。 新たな時代の音色が海を越えて響くように…
9	塚本 轟	ツカモト ラカ	埼玉県	大太鼓 鼓	オオウダイ ドラカ	大空を高くと飛び回る様子を表現。
10	福田 昌良	イナガキ マサヨシ	千葉県	神鳴り	カミナリ	天を裂く稲妻、轟く雷鳴。 古来より「神鳴り」と呼ばれ、恐れられてきた雷の持つ凄まじい大自然のエネルギー。 そして、それを自由に操りながら空を舞う、力強い雷神の姿を表現します。 ～魂を揺さぶりに心に響くリズムをあなたに～
11	李 淳夏	イ・スンハ	韓国	海の子	ウミノコ	海と共に生きていく人間の意志と尊厳を表現した曲です。
12	佐藤 茂大	サトウ コウタ	愛知県	鼓々辛苦	リュウリュウシンク	日々とは一粒一粒の作物のこと 苦労し作り上げたものいとも簡単に打ち砕かれる。 しかし苦労し作り上げられたものは響く美しい。 何があっても消えることのないもの力強さ、響きを表現しました。

一人打ち女子の部

申込順	名前	フリガナ	住所	曲名	フリガナ	曲紹介
1	坂本 悠菜	サカモト ユウナ	神奈川県	梅の花	ウメノハナ	今回演奏させて頂く演目は、「梅の花」という曲です。新しい冬を超えて来た梅の花が春を告げるために全力で咲き誇り咲ってゆくさまをイメージしています。そんな梅の花を全力で表現したいと思います。宜しくお願い致します。
2	深澤 咲花	フカサワ サキカ	群馬県	疾	シユウ	迫力、柔らかなさ、明るさ、自由と私が打つ太鼓を表現しています。皆様にも同じよう演奏させて頂きます。
3	小曾 純	コソゲ ジュン	三重県	新芽	シンメ	新たに芽吹く小さな新葉、日々の鍛錬を繰り返し、新芽のように新たな一歩を踏み出す姿を表現します。宜しくお願い致します。
4	工藤 未来	クドウ ミク	東京都	裡	ミヤビ	女性の凛とした強さ、情緒、そして一つの想いを、この鼓に乗せて。今、ここにしかない太鼓の響き、想いを伝えます。
5	山崎 芳恵	ヤマザキ ヨシエ	栃木県	勇波	アラナミ	刻一刻と様々な表情を見せる波。その雄急や力強さを、太鼓の響きにのせて、全身で表現します。

団体ジュニアの部

申込順	名前	フリガナ	住所	曲名	フリガナ	曲紹介
1	群馬県立安中総合学園高校 和太鼓部 飛翔	グンマケンリツ アンチカソウゴウガク エンコウコウ ワダイコブ ヒシヨウ	群馬県	飛翔	ヒシヨウ	山内上杉家、甲斐武田氏の家臣であった家中 重賢(あんなか のぶしげ)がその配下として、長尾景虎(上杉謙信)の上野侵攻に際して上杉方に参陣し甲斐の畠田氏と抗争した様子を表しています。
2	TK和太鼓部 MOVE	ティーケーワダイコブ ムーブ	愛知県	輝光	カゲロウ	光が動き始め地面から立ち昇るエネルギー そのエネルギーは全ての命を動かす根源へと変わる
3	上州高山いぶき太鼓	ジョウシュウタカヤマ イブキダイコ	群馬県	阿時	アウチ	阿時とは万物の始まりと終わりを意味する言葉です。和太鼓にも、始まりと告げる伝統的な音と鼓々の演奏家たちが研究して生まれた現代的な音があります。今回演奏する「阿時」では、伝統的な音と現代的な音を1曲の中に取り入れることで、阿時を表現しました。また、笑顔で始まり、真剣な表情で終わることで、神社などにある阿時後の教養も表現しています。
4	打鼓音ジュニア	ダクオンジュニア	神奈川県	祭典	サイテン	「創作和太鼓集団打鼓音」のジュニアチームとして、「夢は見るものではなく頼むもの」をモットーに大会への出場や地域での演奏を目標に活動しています。「祭典」は活動拠点の横浜市旭区若葉台で行われる裏の夜に広がる花火大会をイメージして作曲。花火を見て心躍る情景、夜空が華やかに彩られる花火を表現します。料簡の見えるところある種太鼓の響かいリズムから全体への重なりは、連続花火が打ちあがる様子をイメージしています。

団体一般の部

申込順	名前	フリガナ	住所	曲名	フリガナ	曲紹介
1	天城運神太鼓	アマギレンボクダイコ	静岡県	望山	サトヤマ	拠点である天城湯ヶ島の自然をイメージした曲です。
2	和太鼓舞	ワダイコ オビキ	千葉県	Road	ロード	この曲は古くからあるような太鼓の響けと新しい今時のリズムや打ち方が入っていると思います。曲の駆け抜けていくような疾走感を大切にしながら、一打一打を大切に打っていききたいと思います。
3	真木村農民太鼓保存会 「志魂」	アオキムラギンダイコ ホソノカイ 「シコン」	長野県	農民	ギミン	長野県真木村の伝統芸能である「農民太鼓」を継承する農民太鼓保存会に所属し、さらにジュニア時代の経験を生かして打ち込みたいと考える仲間と結成したのが「志魂」です。2017年に発足した若いチームですが、保存会員として活動しながら、コンクールへの挑戦や近隣地域での演奏をしています。私たちの太鼓を通して、百歳一揆で地域を救った農民の魂や、地元真木村のことをより多くの人に伝えたいと思い、一生懸命活動しています。
5	大太坊	ダイダボウ	長野県	経河	ゲンガ	無限の宙へ、いつの日か飛び立ちたい、あの遥か彼方。無限の空間。打ち鳴らす太鼓は、空に轟き、果てしない宇宙へと届けてゆく。長野県伊那市を拠点に、日本各地で年3~5回の劇場公演を中心に活動しています。 演出・芸術監督 北原永の元、伝統に埋もれず流行に流されずという創造理念を持ち、名前を変えながら30年の歴史を持つ和太鼓集団です。
4	上州あずま太鼓会	ジョウシュウアズマダイ コカイ	群馬県	志治あばれ太鼓	ヂウジアバレダイコ	上州あずま太鼓会は、伝統芸能を趣き伝承していく事を目的に、群馬県伊勢崎市において発足し、34年の時を積み重ねてきました。地元はもちろんのこと、県内外問わず出演の依頼があれば出向き、また、より深みのある心に響く演奏を心がけ、和太鼓の「音」を、聴いて下さる方の心に強く響かせ、笑顔は人に伝染すると信じ、みんなを笑顔に出来るよう演奏していきたいです。「志治あばれ太鼓」は、上州が誇る侠客黒川忠治の壮絶な半生を詠った曲です。